

令和3年度第1回君津市子ども・子育て会議（書面会議）の 開催結果について

◎（仮称）君津市立貞元保育園基本構想・基本計画（素案）について

意見：最近では各地で大雨による災害が発生しております。（仮称）君津市立貞元保育園の計画地域は小糸川に隣接した場所であり、過去に無い大雨が各地で発生していることから洪水発生基準を見直す等、防災対策を考慮願いたいと思います。

回答：令和2年3月に千葉県が水防法の規定に基づき、想定し得る最大規模の降雨による洪水浸水想定区域図を公表しました。（仮称）貞元保育園計画地は洪水浸水想定区域外であり、浸水の可能性は極めて低いですが、万一に備え、屋上または2階の一部に避難スペースを設けます。

意見：防災対策については、ソーラー発電システムの設置を計画しているようですが自家発電設備については、メンテナンス等を考慮して蓄電池の設置を行ったほうが、後のメンテナンス費用を考えたらコスト面で有効だと思います。

回答：災害が起きた場合でも、早期に復旧して保育が提供できるように、設備整備費や維持管理費を比較しながら、自家発電設備や蓄電池などの設置を検討してまいります。

意見：待機児童削減について、待機児童発生の原因として保育士不足が考えられます。保育士確保の対策として他の市に無いような対策を考慮願います。保育士の優遇措置、勤務時間の改善、作業負荷の改善、ワークライフバランスの改善等を支援願います。

回答：市のホームページやSNS、民間の有料広告等を活用し募集を行ってまいりましたが、保育士不足は全国的な課題でもあり、ここ数年は、十分な保育士の確保が困難な状況が続いております。今後は、近隣の保育士養成校との連携や、人材派遣会社の活用など、新たな保育士確保策の検討を進めてまいります。また、公立保育園及び認定こども園におけるICTシステムの導入に伴う事務効率化や、職員配置の適正化等により、保育士の負担軽減を図ります。

意見：新しい園舎の計画は、ゾーニング図を拝見するだけでもワクワクしました。子ども達が、豊かな自然環境に恵まれ、広々とした園舎で、地域の温かな眼差しに支えられて、のびのびと育まれることを切に願っております。

回答：家のように安心できる居場所を拠り所に、自然の持つ奥深さや多様性が子どもの自発的な育ちを促し、保育士、保護者、地域の人とのつながりが地域を豊かに育てていく、ともに育ちあう保育園になることを目指し、整備を進めてまいります。

意見：基本構想で示されている「2－4 貞元保育園の役割」のうち「(4) 保育のセーフティーネット機能を強化する」について基本計画に反映されていないと感じます。特に「障害児保育」や「休日保育」は必要だと考えます。民間保育園ではなかなかできない領域なので「行政として」「基幹として」関わっていただきたいと思います。そこで補完されていることが「子育てしやすいまち」につながると思います。

回答：基本計画「3－3 導入機能の整理」の「(6) 子育て世代が魅力を感じる保育・子育て環境」を修正しました。基幹保育園として、発達において何らかの心配がある児童、障害児、要保護児童への対応を関係機関と協力して強化するとともに、医療的ケア、代替保育、休日保育等を導入するなど保育のセーフティーネット機能の強化を図ってまいります。

意見：現在の久保、上湯江、常代の3園を統合し、(仮称)君津市立貞元保育園の定員が150人となると、現園児より約100人減になるが、開園が3年後であること、他の2園が整備されること、対象となる6歳以下の人口の推移によるものと理解します。

回答：上湯江保育園及び常代保育園については、令和4年度から新規入園の制限を行い、全園児が(仮称)君津市立貞元保育園へ移動できるよう配慮してまいります。その間の待機児童対策として、令和4年度には美和幼稚園のこども園化による保育枠の追加、令和5年度には内箕輪、南子安保育園の民営化による受入数の増加を図ってまいります。

意見：懸念される周囲の道路状況については、片側歩道の整備、車道の拡幅が計画されているため、安全が確保されていると思われまます。

回答：安心して送迎や戸外活動が行えるよう、道路改良事業を進めてまいります。

意見：車両等の動線が考えられておりますが、車両の出入りとなる間口が広くないこと、園庭からの出入りゲートは貞元・喜平線は人通りが少なく、向かい側は民家の塀であること、それぞれ、事故や防犯の対策を考える必要があります。

回答：車両の出入口の拡幅、出入箇所を増設、駐車場内の一方通行等、貞元・喜平線道路改良事業の状況を踏まえながら、今後、基本・実施設計にて多角的に検討してまいります。

また、防犯対策については、ICTシステムによる入退出管理、防犯カメラ、外灯の設置等検討してまいります。

意見：決定案のゾーニングイメージから、様々な機能を備えた園舎が建ち、子どもたちのあふれる笑顔を想像することができます。自然に恵まれたこの地域に根付き親しまれ、基幹保育園としての役割を担う（仮称）君津市立貞元保育園となることを願います。

回答：基本理念である『自然とともに みんな笑顔で 生きる力を育む つながる子育て支援拠点』を実現できるよう、整備を進めてまいります。

意見：基本構想「2－2保育士ニーズの把握」の「導入したい保育サービス」の「休日保育」の実施体制が確立出来ると思います。また、「特別ケア」も望まれることだと思います。

回答：基幹保育園として、発達において何らかの心配がある児童、障害児、要保護児童への対応を関係機関と協力して強化するとともに、医療的ケア、代替保育、休日保育等を導入するなど保育のセーフティーネット機能の強化を図ってまいります。

意見：水害対策は皆さん心配される場所だと思います。送迎時の道路の浸水等も含め対策をお願いします。また、垂直避難計画は建物でしょうか。

回答：（仮称）貞元保育園計画地は洪水浸水想定区域外ではありますが、計画地北側の小糸川沿いは洪水浸水想定区域内であるため、雨量による迂回路の設定等、運用を検討してまいります。また、垂直避難は、園舎の屋上または2階の一部に避難スペースを設け、避難いたします。

意見：基本理念である「自然とともに みんな笑顔で 生きる力を育む つながる子育て拠点」は素敵だと思います。そんな素晴らしいところから、1年生になって学校に入った時、ギャップが無いよう、5歳児や6歳児の特別な保育は何かありますか。

回答：一人ひとりの発達に応じ、日々の遊びの中で、個性を大切にしながらも、協同性や数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚等が育まれるような保育を実施しております。また、乳幼児期から学童期への橋渡しとして、小学校訪問や教師との情報共有等の緊密な連携を図り、円滑な接続を実施しております。